



春日小だより

令和8年9月30日
練馬区立春日小学校
校長 磯貝 和裕
学校通信10月号

大切な命を守るための防災の取組

校長 磯貝 和裕

先日の道徳授業地区公開講座では、たくさんの保護者の方にご参観いただきまして、ありがとうございました。さて、この原稿を書いている9月中旬現在、長らく停滞している秋雨前線などの影響により雨の日が続いています。9月7日（月）は警報級の大雨の予報により、練馬区の区立学校等が一斉臨時休業となりました。夏休みには、熊本地震、千葉県・北陸地方における記録的な大雨などの自然災害が人々の生活に大きな影響を与えたところですが、もはや自然災害は特別な場所で起こるのではなく、いつ、どこで起きても不思議ではありません。

始業式の校長講話で防災について取り上げました。自然災害から大切な命を守るために、避難訓練に真剣に取り組んだり、防災について学んだりしていきましょうという話をしました。後日、春日小学校や練馬区には、防災を学び、体験する機会がどのくらいあるか改めて確認してみました。たくさんの取組がありますので、紙幅の許す限り紹介していこうと思います。

まずは、学校の授業における取組です。4年生の社会科の授業では、練馬区における水害を防ぐ様々な対策について学習しています。子供たちは教科書やタブレット型端末を活用し、水害を防ぐために川を工事して幅を広くしたり水深を深くしたりしていること、練馬区には3つの調整池があり、洪水で溢れた水を貯めていることなどを調べてノートにまとめています。授業後の振り返りでは「洪水や水害は危険なので他にも対策があるか調べたいです」「3つの調整池があり安心と思ったけど、家での対策もしておいた方がいいと思います」などの考えが出ました。防災に関心をもち、自分事として調べる姿をととても素晴らしいと思いました。

そして、11月14日（土）には、学校公開において総合防災訓練を行います。当日は本校避難拠点運営委員会、練馬消防署貫井出張所、練馬消防団、練馬区区民防災課の皆様方にお力添えをいただき、全学年で多種多様な防災訓練を実施します。たくさんの保護者の皆様のご来校をお待ちしております。親子で防災について学ぶ機会にいただければ幸いです。

さらに学校の取組以外にも、本校避難拠点運営委員会が7年ぶりに実施する「夜の防災訓練～避難所体験～」(10月10日)、練馬区が実施する「防災フェスタ」(9月27日)など、9月1日の防災の日が始まる2学期には、防災について学び、体験する機会がたくさんあります。ご家庭でもこれらを契機として、自然災害が起きたときの約束事を確認するなど、ぜひ話題にしてみてください。これからも学校、家庭、地域、行政が力を合わせて防災の取組を推進し、子供たちに大切な命をしっかりと守ることができる力を育んでいきたいと思っています。引き続き、皆様のご理解ご協力の程よろしくお願いいたします。